

2019年11月27日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【遊技機】特許資産規模ランキング、トップ3はSANKYO、三洋物産、大一商会

弊社はこのほど、独自に分類した「遊技機」業界の企業を対象に、各社が保有する特許資産を質と量の両面から総合評価した「遊技機業界 特許資産規模ランキング」をまとめました。2018年4月1日から2019年3月末までの1年間に登録された特許を対象に、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を用いた評価を行い、企業ごとに総合得点を集計しました。

その結果、1位 SANKYO、2位 三洋物産、3位 大一商会となりました。

順位	企業名	特許資産規模	特許件数
1	SANKYO	36,040.7	1,509
2	三洋物産	23,505.6	859
3	大一商会	18,294.1	690
4	サンセイアールアンドディ	15,326.0	371
5	ユニバーサルエンターテインメント	14,715.5	585
6	ニューギン	11,464.1	817
7	京楽産業	11,416.4	406
8	サミー	11,287.3	389
9	ソフィア	7,436.5	333
10	大都技研	6,416.9	182

1位 SANKYO の注目度の高い特許には、「複数の報知演出を好適に実行する遊技機」や「遊技者の有利状態が終了した後でも遊技の興奮を向上させるスロットマシン」が挙げられます。

2位 三洋物産の注目度の高い特許には、「単調感を払拭して興奮を向上できる遊技機」や「遊技媒体の払出を良好に行うことができる遊技機」が挙げられます。

3位 大一商会は、「事前報知演出の信頼度を向上させて遊技の興奮低下を抑制する遊技機」や「演出を活かしつつ稼働の低下を抑制し得る遊技機」などが注目度の高い特許として挙げられます。

4位のサンセイアールアンドディは「図柄の変動表示に応じて演出効果を向上した遊技機」、5位のユニバーサルエンターテインメントは「可動する複数の被投影部(スクリーン)が当接するときの損傷を防ぐ遊技機」などが注目度の高い特許として挙げられます。

特許資産規模ランキングデータを、以下の通り販売しています。

※ランキングデータには個別特許の評価データは含まれません。

◆【遊技機】特許資産規模ランキング

- ・遊技機 特許資産規模ランキング (全期間トップ 30 と 2018 年度のトップ 30)
- ・遊技機 登録特許件数ランキング (全期間トップ 30 と 2018 年度のトップ 30)
- ・全業種 特許資産規模ランキング (全期間と 2018 年度トップ 100)
- ・全業種 登録特許件数ランキング (全期間と 2018 年度トップ 100)

※本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2019 年 9 月末時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる特許が含まれる可能性があります。

【納品形態】

上記データを収録した CD を納品

【価格】

50,000 円 (税抜)

◆ 個別特許の評価データ

個別特許の評価データを別途ご希望の場合は、お問い合わせください。

件数に応じて下表の単価が適用となります。

件数	単価(税抜)
~499 件まで	1,000 円/件
500 件~999 件まで	600 円/件
1,000 件~4,999 件まで	500 円/件
5,000 件~9,999 件まで	300 円/件
10,000 件以上	お問い合わせください

※業種は総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

※算出方法について :

特許資産の規模とは、各出願人が保有する特許（特許庁に登録され、失効や権利放棄されていない特許）を「特許資産」としてとらえ、その総合力を判断するための指標です。特許 1 件ごとに注目度に基づくスコアを算出した上で、それに特許失効までの残存期間を掛け合わせ、出願人ごとに合計得点を集計しています。注目度の算出には、特許の出願後の審査プロセスなどを記録化した経過情報などを用いています。経過情報には、出願人による権利化への意欲や、特許庁審査官による他社特許拒絶への引用、競合他社によるけん制行為などのアクションが記録されており、これらのデータを指標化することで、出願人、審査官、競合他社の 3 者が、個々の特許にどれくらい注目しているかを客観的に評価することができます。

＜＜ 本件に関するお問い合わせ先 >>

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

Tel : 03-5802-6580, Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL : <https://www.patentresult.co.jp/>